

平成23年1月7日

「志賀原子力発電所における石川県・志賀町への連絡基準に係る覚書」
連絡区分Ⅲに係る連絡（平成22年12月分）について

本日、北陸電力(株)から、連絡基準に係る覚書連絡区分Ⅲ（定期的に連絡するもの）に該当する事象の平成22年12月分として下記のとおり連絡があった。

いずれの事象についても、立入調査を実施し、発生状況や対策等を北陸電力から聴取している。

1. 志賀1号機 原子炉冷却材再循環ポンプ軸封部取替作業における洗浄水の漏えいについて（原子炉停止中）

原子炉冷却材再循環ポンプの軸封部の点検・取替作業の一環として、配管の洗浄を行っていたところ、仮設ホースが外れ、約70ccの洗浄水が流出した。

その際、洗浄水の一部が作業員にかかったが、当該水に放射性物質は含まれておらず、作業員には被ばくはなかった。

2. 志賀2号機 主蒸気止め弁の開度指示計に係る検出器の不具合について

タービン起動時にタービンへ主蒸気を送る弁の開度を示す機器に不具合が生じたもの。

当該検出器は、原子炉の起動過程で使用されるものであり、原子炉の運転継続には問題がない。

なお、当該検出器は3個設置されているが、昨年6月に1個が故障している。北陸電力では、次回の定期検査時に新品に交換する予定。

連絡区分Ⅲ：原則として翌月10日までに連絡するもの

参 考：北陸電力HP

<http://www.rikuden.co.jp/mreport/index.html>

原子力安全対策室

県庁内線 4234

直 通 076(225)1465

志賀原子力発電所 1 号機

原子炉冷却材再循環ポンプ（B号機）軸封部取替作業中の作業員への被水について

志賀原子力発電所 1 号機は原子炉冷却材再循環ポンプ^{*1}（B号機）軸封部^{*2}の点検・取替作業中の平成 22 年 12 月 7 日 12 時 00 分頃、軸封部取替作業の一環として、シール水^{*3}配管の洗浄を行っていたところ、仮設ホースの接続部が外れ、約 70cc のシール水が流出し、その一部が作業員にかかりました。

シール水には放射能は含まれておらず、作業員に放射性物質による汚染やけが等はなく、また外部への放射能の影響はありません。

* 1 : 原子炉冷却材再循環ポンプ

原子炉内の冷却水を強制的に循環させるためのポンプで、ポンプの回転数(スピード)を変えることにより、冷却水流量を調整し、原子炉の出力を増減させる。

* 2 : 軸封部（メカニカルシール）

ポンプ内部を流れる冷却水が回転軸の隙間を通してポンプ外部に出ないようにするために設けられている部品。

* 3 : シール水

軸封部に供給している水。

志賀原子力発電所2号機

主蒸気止め弁(D)開度指示計用検出器に係わる警報の発生について

定格電気出力一定運転中の志賀原子力発電所2号機において、平成22年12月26日16時34分、主蒸気止め弁*(D)開度指示計用の検出器(開度検出器)の異常を示す警報が発生し、開度を示す出力信号の低下を確認しました。

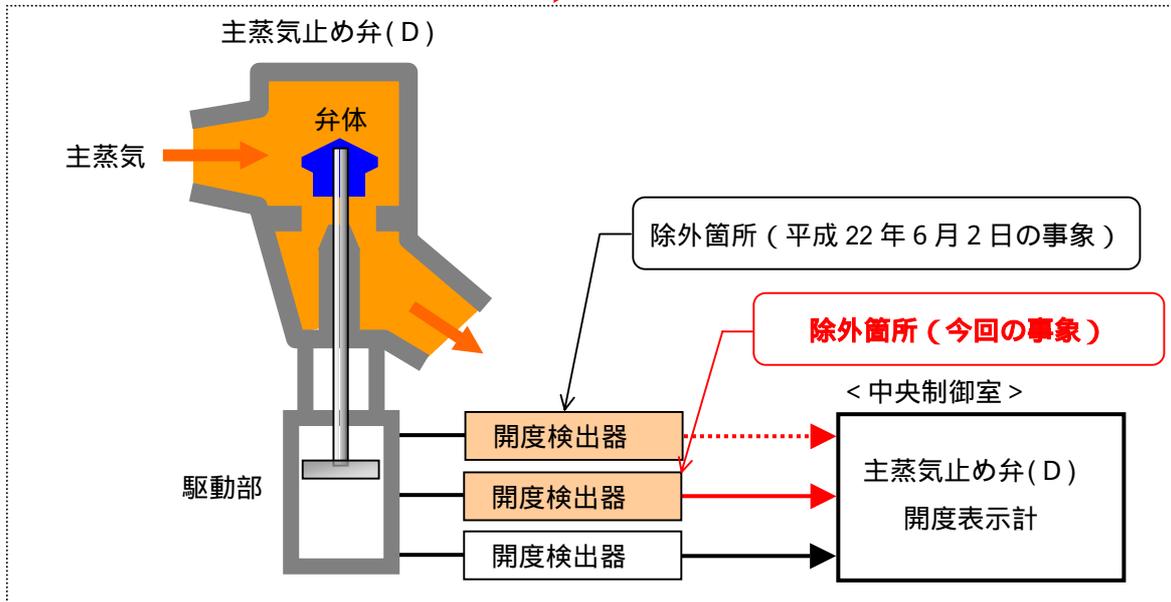
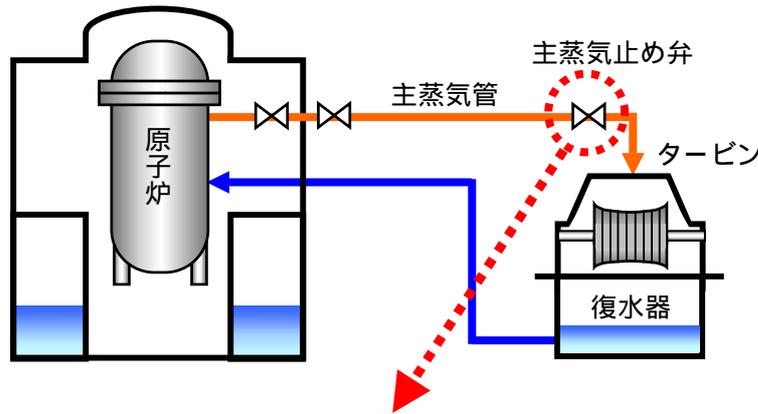
12月27日18時46分、出力信号が低下した検出器を除外し、警報を解除しました。主蒸気止め弁の開度指示計は、原子炉の起動過程で使用しているものであり、原子炉の運転継続に問題ありません。

現場を確認したところ、前回平成22年6月2日と同様に検出器の一部の部品が脱落していたため、当該検出器についても次回の定期検査時に新品と取り替えます。

外部への放射能の影響はありません。

*：主蒸気止め弁

タービン起動時に開き、タービンへ主蒸気を送る弁で、主蒸気管4本に1弁ずつ設置している。



主蒸気止め弁概要図